

令和6年度 学校評価報告書

令和7年3月28日

北海道教育委員会教育長 様

北海道厚岸翔洋高等学校長 山 本 十 三

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 学校教育目標

- 北海道厚岸翔洋高等学校の生徒として自覚と誇りを持ち、未来に翔く人の育成を目指し、
- 学びの目的を理解し、学びの喜びを実感できる人を育む
 - 課題を発見し、自ら進んで解決に取り組む人を育む
 - 自他の違いを尊重し、多様な他者と協働することができる人を育む
 - 心身ともに健康で、持続可能な地域社会の創り手となる人を育む

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

| 評価項目 | 自己評価の結果 | 学校関係者評価の結果 |
|---------------------|--|--|
| 育成を目指す資質・能力 教育課程 | マイスター・ハイスクール事業など地域と連携した教育活動に取り組むとともに、総合的な探究の時間では外部講師を活用して地元理解を深め、将来の地域を担う人材の育成に努めた。 | 自己評価は概ね適切。マイスター・ハイスクール事業の取組によって生徒は貴重な学習を体験することができた。事業終了後も、新たな形で取組を繋げてほしい。 |
| 改善方策 | 事業終了後はコミュニティ・スクールを導入して、引き続き、地域と一体となった教育活動の充実を図る。 | |
| 学習指導 | 習熟度別指導や体験的学習を充実させ、個別最適な学習指導を推進した。生徒の様々な進路希望にも対応するよう、教育課程外での指導も生かして、特待生受験や資格取得等に向けてチームで取り組んだ。 | 自己評価は概ね適切。 生徒数は少ないが、先生方が熱心に生徒指導に当たっていることが分かる。引き続き、生徒の進路実現のため、一人一人に合った学習指導を行ってほしい。 |
| 改善方策 | ICTを活用した授業や実習等を通して個別最適な学習指導の一層の充実を図る。 | |
| 生徒指導 | 基本的な生活態度の育成や規範意識を高める指導とともに、いじめの未然防止や生徒理解を深めるよう学校全体での生徒指導を継続してきたことで、生徒は非常に落ち着いた学校生活を送ることができた。 | 自己評価は概ね適切。 生徒が安心・安全に高校生活を送れるよう、引き続き、生徒に寄り添った生徒指導を充実させてほしい。 |
| 改善方策 | 今後も定期的にいじめ防止対策委員会やサポート委員会を開催し、学校全体で生徒理解に力点を置いた体制を構築する。 | |
| 進路指導 | 企業実習や進路ガイダンスなど、地域と連携した進路指導とともに、個別学習による進学指導等により、生徒の進路実現に向けて取り組むことができた。 | 自己評価は概ね適切。 早い段階から関係機関と連携して進路指導を行っていることで、進路意識が早期に芽生えていると感じる。今後も地域の期待に応える進路指導を充実させてほしい。 |
| 改善方策 | 総合的な探究の時間の取組を進路指導と結び付けるなど、進路意識の更なる向上を図る。 | |
| 健康安全 | 簡易型エアコンの導入により、暑さ指数を確認しながら、快適な学習環境を目指して取り組んだ。 | 自己評価は概ね適切。 道東地方も夏は暑い日が多くなっているので、導入した簡易型エアコンを効果的に活用してほしい。 |
| 改善方策 | 生徒が健康で安全な学校生活を送れるよう環境づくりに努める。 | |